

English for Careers

就活英語を学ぼう

第6回

留学書類の書き方

by 株式会社アイベック スコット・シーリー、植草 良將

前回までは、英語面接の受け方についてご紹介しました。今回は、留学に当たって必要な書類とその書き方について、押さえておくべき必須事項、ほかの応募者と差を付けられる、つい忘れてしまいがちなポイントをご紹介したいと思います。

必要書類について

この時期、留学を考える人もいるでしょう。ここでは、アメリカ留学を例に説明します。可否は書類審査で決まり、大学によっては面接もあります。日本のような入学試験はないので、提出書類は丁寧に書きましょう。主な必要書類は以下の通りです。

- ・ 願書 (Application form)
- ・ 成績証明書 (Transcript)
- ・ 卒業証明書 (Graduation certificate)
- ・ 財政能力証明書 (Financial statement)
- ・ エッセイ (Essay)
- ・ 推薦状 (Letter of recommendation)
- ・ テスト結果 (Score report)

以下、詳細を説明していきます。

■願書

ウェブやEメールで請求します。ほとんどの大学がオンライン願書受付です。タイプ打ちが望ましいですが、手書きの場合はブロック体で記入します。

■成績証明書

英文の正式な成績証明書を出身高校・大学（在学中も含む）で作成してもらい、志望校へ直接送ってもらいます。可否決定において最重要視されます。複数の大学に出願する場合でも、学校印と発行した学長・校長・教諭の自筆の署名については、コピーでなく原本を用意します。

■卒業証明書

成績証明書に入学・卒業年月日が明記されている場合は不要です。

■財政能力証明書

名義人は親が望ましいですが、本人や祖父母、兄弟姉妹でも大丈夫です。学費、寮・食費など2年分を賄える額が望ましいです。一口座にまとめて証明書を取得する必要は

なく、複数の口座の残高証明書が必要額に達していれば問題ありません。

■エッセイ

後述します。

■推薦状

日本の大学からアメリカの大学に編入する場合、高校の先生と大学の教授に1通ずつ書いてもらうのが一般的です。大学院に進学を希望する場合、推薦状が3通必要になります。3通とも大学の教授に書いてもらっても構いません。原則として志望校へ直接送ってもらいます。用紙については、できれば推薦状を書いてくれる人の勤務する学校や会社のレターヘッドを用います。そのほかの注意事項は、この連載の第3回「英文履歴書の書き方②」に書いてありますので参考してください。

■テスト結果

IELTS や SAT、GRE、GMAT のスコアを各テスト機関から大学へ直接送付してもらいます。英検を英語力証明として提出することができる場合もあります（英検を入学資格として認めているアメリカの認定校は、2010年10月現在、約350校あります）。

エッセイの書き方

自己推薦文です。人物評価の上で重要視されます。志望動機、将来の目標、性格や能力、特技など自分をアピールしましょう。事前にテーマを与えられる場合、テーマは以下の種類に大別されます。

- ①自分自身のことを書かせる（例：本学の学生になるに当たり、あなたの資質やこれまで成し遂げたことを述べてください）
- ②その大学の志望理由を書かせる（例：あなたの教育目標を達成するために、なぜ

- 本学に入学したいか述べてください）
- ③出願者の創造性や独自性を探る（例：1年間一緒に過ごしたい人を挙げるとしたら誰ですか。それはなぜですか）
- 一つのテーマと一貫した論理展開に徹し

て書くようにしましょう。プリントしたものを提出する際は、A4サイズ1枚で上下左右とも1インチ程度（約2.5センチ）の余白を取ります。②のエッセイの具体例を下に挙げますので、参考にしてください。

(将来の目的、専攻したい分野)

My career goal is to become a professional urban planning specialist. Because experiences as a student at your university would provide me with opportunities to become a qualified community development planner in the field, **I would like to pursue a degree at your university with a major** in urban and regional planning.

(その専攻を希望するに至った理由)

The courses I took at XX University gave me a more profound insight into such things as city planning; the study of community development provided me with a basic knowledge of related theories. Through my education, my interest in urban planning grew until I had no doubt this was the field I desire to major in.

(その大学を志望する理由)

The primary reason that I would like to study at your university is that it has a renowned community development planning program that is more advanced than any in Japan. As mentioned above, I would also like to study in the US so that, as an urban planning specialist, I can contribute to society because US is better to learn how contribute society as a city planner. Your university has an excellent reputation, and is the place where I would like to study to become a qualified community development planner.

(専攻分野と関係のあるクラブ、ボランティア活動など)

I have been a member of the urban planning research group at XX University in Japan since 2009. **I made good relationships with members from a variety of nationalities and backgrounds.** I learned to understand and embrace our differences through various activities, but I feel that there are more opportunities for me to learn about and experience diversity in many ways at your university. I hope that you will approve my application. **I am determined to work hard,** and wish to be an active member of your diverse international student body.

● 重要なポイントを押さえておきましょう ●

■将来の目的、専攻したい分野

My career goal is to become... 卒業後の志望職業から書き、「そのために○○を学びたい」とつなげます。

I would like to pursue a degree at your university with a major in... 「あなたの大学で○○を専攻したい」という決まり文句の一つです。

■その大学を志望する理由

The primary reason that I would like to study at your university is that... 志望理由を最初に書きます。

■専攻分野と関係のあるクラブ、ボランティア活動など

I made good relationships with members from a variety of nationalities and backgrounds. 多国籍社会のアメリカで人間関係をうまく築けることを示すため、さまざまな人と良い関係だったことを述べます。

I am determined to work hard 「精一杯勉強する決心ができています」と熱意をアピールします。

いかがでしたか？ ポイントを押さえたエッセイで、ほかの応募者に差をつけましょう。次回からは、英文Eメールの書き方をご紹介します。

PROFILE

スコット・シーリー (Scott Seeley)
コーネル大学（ニューヨーク）で修士号（心理学）と学士号（生物学）を取得。英語学校マネージャーを経て、株式会社アイベック講師ビジネスライティングトレーニングマネージャー兼採用担当マネージャー。日本語と英語のバイリンガル。多数の企業より指名を受け活躍中。



植草 良將 (Yoshimasa Uekusa)
東大文学部卒業。東大大学院人文社会系研究科修士課程修了。専攻は言語学。英文Eメールライティングなどの学習指導・教材開発を手がける。実用英語技能検定1級。趣味はヴェーダとサンスクリット語。修士論文のテーマはインド・スリランカのタミル語。



世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、
日本でもすでに350以上の企業・団体が採用

詳細は www.eiken.or.jp/bulats

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail stepbulats@eiken.or.jp

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS

Fast, reliable, and global